

卒業おめでとう!! 第30回生



第 96 号

編 集 発 行

愛知県立大府東高等学校 PTA

平成27年 2月27日発行

第30回卒業生の皆さんへ



PTA会長
林田 秀治

卒業生の皆さん、そして三年生の保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。また校長先生をはじめ教職員の皆様には、授業はもとより部活動、生活や進路等のご指導、ご支援を頂き厚く御礼申し上げます。

ところで卒業生の皆さんの本校での日々はいかがなものでしたか。それぞれ沢山の思い出と共に貴重な経験を積み重ね成長し、確かな足跡を残して巣立って行かれる訳ですが、卒業はまた新たな道の始まりでもあります。高村光太郎の『道程』という詩の一節に、「僕の前に道はない。僕の後ろに道は出来る」という言葉があります。細い道、曲がりくねった道、しっかりと踏み固められた道、その道は様々ですが、誰の後ろにも道はきちんと出来ています。だから、どうかこれからも一歩一歩をしっかりと踏み固め、道を作り続けてください。隣の道を羨む事なく、時に下り坂になっても、時に道に迷ってしまっても、途切れる事無く皆さんの夢に向かって道を作り続けられる事を心より祈っています。

最後に、本校PTA活動に対しご理解、ご協力を頂いた会員の皆様、そして三年間見守ってくださった地域の方々にご感謝申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。

努力 労を惜しむな



校長
小野寺雄二

本日、晴れて本校を卒業する三十回生の皆さん、卒業おめでとうございます。保護者の皆様におかれましても、心からお祝い申し上げますとともに、これまでの本校へのご支援、ご協力に厚く感謝申し上げます。

三年間の高校生活の中で、諸君は、勉学に励み、心と体を鍛えて、大きく成長してきました。これからは、それぞれの夢や希望に向かって進んでいくわけですが、途中幾度となく、人生の岐路に立つことがあるでしょう。その時は、何事も自分で決め、たとえそれが苦難な道であっても、自分の可能性を信じて、すすんで挑戦していったほしいと思います。

人は失敗から学んで成長していきます。何度失敗してもいいし、失敗を恐れはいけません。大切なことは、あきらめずに強い信念を持ち続けることです。人生で無駄なことはひとつもありません。「努力 労を惜しむな」君たち一人ひとりが、自分の道を積極的に切り拓き、人生を謳歌していくことを期待しています。

さあ、勇気を持って新しい世界に羽ばたいてください。

贈る言葉

三年主任 原田 豪

三十回生は、新しい制服のもと新生大府東高校としてスタートしました。卒業生の人々には、社会人になるための基礎作りとして「挨拶・時間・掃除」をテーマに三年間指導してきました。

「挨拶」をしない大府東生と外部の方にいわれた時期もありましたが、卒業生のおかげで、廊下をすれ違う時でも「挨拶」ができる生徒のいる学校になりました。遅刻の減らない学校が、朝の読書を始めたことをきっかけに、「時間」を守る生徒が増え、遅刻の少ない学校になりました。雑然とした教室のあった学校が、「掃除」にしっかりと取り組む、心の整った生徒が増えたことで、落ち着いた雰囲気のある学校になりました。卒業生の人々は、大府東高校が生まれ変わるための役割をしっかりと果たしてくれました。ありがとうございます。

以前、近所のお寺に、「出会いは人を成長させ、別れは人を深めさせる」という言葉が書かれていました。多くの人がこの三年間で成長を見せてくれました。これからどう自分を深めていくのか、また、成長していくのか、これからのみんなの未来を楽しみにしています。

卒業生の皆さんへ

一組担任 石原 徹也

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。大府東高校に入学してから三年という月日が流れましたが、皆さんにとってどのような時間だったでしょうか。すべてが上手くいったという人はおそらくいませんよね。時には辛く、苦しい経験をした人も多いと思いますが、それは皆さんだけではなく、私も同じです。

皆さんが三年前この学校に入学してきたときのことを、私は今でも鮮明に覚えています。私は一年一組の担任でした。入学式当日に初めて教室に入った時の期待と不安に満ちあふれた皆さんの表情は、まるで私自身を映し出しているかのようでした。私自身初担任として、大きな不安から、時には悩み、苦しみました。そんなときに私の支えになってくれるのは、皆さんの明るい笑顔でした。この三年間、私は本当に皆さんに助けられました。

高校生活が終わり、新たな人生のスタートです。これからますます多くのことを経験すると思いますが、どんなときでも挫けず、前へ進んでいってください。



感謝

二組担任 木村 英美

三十回生の皆さん。卒業おめでとうございます。たった一年間のつきあいでしたが、色々ありがとうございました。

二組のみんな。私、木村と初めて顔を合わせた時、どう思いましたか。どの馬の骨ともわからないおっさんがいきなり教室に来て、「君たちの担任だ」と告げた日です。女性の先生が来るものと思っていたかもしれませんね。がっかりしたでしょうか。私もすごく緊張していました。実は最初の一週間はどう接していいかわかりませんでした。あれから約一年もうお別れです。

球技大会、お化け屋敷、体育大会。面接指導やその他色々。短い間に色々な思い出をもらいました。楽しいことはもちろん、苦しいこともありました。でも「嫌だ」と感じたことは一度もありません。確かに失敗はしますが、「話せばわかるし、きちんとやれる」と信じていたからです。大府東でのスタートが君たちの担任で本当によかったと思っています。心から言わせていただきます。素敵な日々をありがとうございます。



日々は成長

三組担任 松田 智行

迷いながら
ぶつかりながら
揺れながら
過ごした日々を
いとしく思う

(加藤千恵「放課後」より)

大府東高校で過ごした三年間は、君たちにとってどのような期間でしたか。何か途中で嫌になり、投げ出しそうになったかもしれません。つらくて諦めそうになったかもしれません。でも踏みとどまり頑張り続けた人が多いのではないですか。自分一人の力で出来た人もいます。周りの助けによって出来た人もいます。努力した人ほど得るものが大きかったのではないのでしょうか。逆に途中で挫折してしまっただ人もいます。後で生きてくるはずですよ。

高校で過ごした日々はかけがえのないものです。皆さんにはこれからも何事にも一生懸命に取り組み、良い人生を歩んでもらいたいと思っています。卒業おめでとう。今後の活躍を祈っています。

卒業おめでとう!

四組担任 新海 太郎

高校最後の一年間、みんなと過ごせて本当に幸せでした。こちらは先生という立場でしたが、むしろ教えたことより、みんなから教わったことの方が多かった気がします。いろいろと大切なものを学ばせてもらいました。ありがとね。

さて、みなさんはこれから人生の次のステージに進むわけですが、そこには摩訶不思議などんでもない大冒険が待っています……というのは冗談(念のため)ですが、でもね、人生は自分次第でいくらでもワンダーランドになるものですよ。

一つ、想像力を大切にしてください。他人を思いやるのも想像力です。自分の価値観や感性だけに囚われないで、頭をマシユマロみたいに柔らかくしてください。

一つ、割り切れないものは無理に割り切らないであげてください。世の中には数量化できないことが沢山あります。質的なものにこそセンサーを働かせてください。

一つ、嫌みは言わないように。これ、ほんと大事です。

一つ、人生には波があります。乗り損ねても焦らないでください。そのうちまたいい波がきます。待てば海路の日和あり、つてね。ではまたどこかで!

常に向上心を

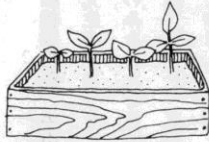
五組担任 丹羽 政裕

卒業おめでとうございます。

振り返るとあつという間の三年間だったのではないのでしょうか。この三年間の中で君たちは何を学び、何を身につけることができましたか。一度振り返ってみてください。授業の中で君たちに「現状維持は衰退だ」、「停滞は後退だ」という言葉を何度か伝えたことが事あります。

何か物事を一つ意識することで、やり方を考え、工夫することで現状から一つ次の段階に進むことができます。その一つを意識し、考えることを大切にしていってください。君たちはこれから先、まだまだ伸びることができず、成長していくことができません。決して現状に満足することなく、常に向上心を持って何事にも取り組んでいってください。

この三年間で、多くの人がしっかりと成長していく過程を見ることができたことを、とてもありがたく思っています。そして、君たちの可能性をうらやましく思うことが多くありました。君たちのこれからのさらなる成長を期待しています。



Resilience (レジリエンス)

六組担任 柴崎 靖子

卒業おめでとうございます。皆さんが大府東高校に入学してから三年間、毎日一緒に過ごせたことを心からうれしく思っています。時には大声で叱ったり、厳しい言葉をかけたこと、ごめんなさいね。いつもそのたびに、自己嫌悪に陥って自分の未熟さを反省していました。

母からこんな話を聞いたことがあります。昔、ある先生が子供をしかるとき、自分の手をその子の手の上に置き、自分の手をたたいて、叱ったそうです。叱る方も叱られる方も同じように痛みを感じるのです。教員としてまだまだ修行中ですが、この話がいつも私の心にあります。

さて、混沌とした時代、きっとこれから楽しいことは少ないでしょう。もうだめ!と思ったときにもう一歩だけ踏み出してみてください。外国の友人が日本人はHardyだ、と言ってくれました。この意味は、大変困難な状況から立ち上がる力がある、ということです。切り替える力、立ち上がる強さ、それとともに相手を思いやる心を大切にしてください。どこにいてもあなたたちの幸せを祈っています。元気でね!

祝いの言葉

二組副担任 青木亮一郎

昨年、中学校の同窓会が行われた。久しぶりに会った級友がほとんどで、話に花を咲かせた。その中で、こんな話が出た。

「最近の若い人は、きついことを言うとすぐやめる。甘い言葉にのって、そっちへ行ってしまう人が多い。逆にそっちの方がきついかもしれないのに。」その話を聞いた時、ある人の話を思い出した。

「私が、動物園で象の糞を集めていると、『勉強しないとこうなるよ。』と、母親が小さい子供に対して言っていた。」その人は大学の教授で、象の研究のために集めていた。ただ、何も知らない人から見ると、みすばらしく見えたのかもしれない。

これから先、皆さんにとって、厳しいことが待っているかもしれない。その時、どうするのか。きついことから逃げること、向かっていくのか。私は、きついことをすることで、新たに知ること、良かったと思うこと、人として成長することが待っていると思う。

最後に、私はこの職業について、様々な生徒に会った。時に、生徒から学ぶこともあった。生徒との出会いに感謝している。

卒業おめでとう。

夢を旅する

三組副担任 石川 憲夫

年齢を重ねてくると、夢を旅するなどということのできるのかと思えます。厳しい現実がいかに上手く対処するかを考えて、自由な発想を持ってないでがいていく。そんな生活に追われていると、活力があり、誠実さがあり、人を思いやる優しさがある君たちがうらやましくなります。今、青春のまつただ中にいる君たちだからこそ、夢を旅することができるのだと思います。

「個性とは何か」でスタートした高校生三年生の勉強も、「人生の意味」を考えることで、終わりを迎えました。これからの人生で大切なことは、自分自身でその真偽を確かめてみることです。

「集中力」はみんなそこそこのものを持っています。けれども、「決意の持続力が人生を決める」ことを知っている人は少ないように思います。

君たちには時間が十分にありません。得意な分野に磨きをかけ、かけがえのない存在として、輝いてください。ポジティブな言葉を話すと前向きな思考になります。謙虚さを失ってはいけません、消極的過ぎるのも、考え物です。皆さんの健闘を祈ります。

大人へ

四組副担任 中山 史信

一年間 新海先生の隣りでSTやLTをとおして四組のみなさんを見てきました。いろいろと話したことがあります。が、何度か話したのは「人の話を聞く時は、よそ事をせずその人を見て聞きなさい。」ということです。ほそほそとしゃべる、配布物等に目をとられる、課題等やっているなどの姿をみかけました。気になったときにはこの注意をしました。が、理由は二つです。

一 大切な連絡が伝わらない
二 人の話を聞く姿勢が身につかない大人になってしまう。

特に二つ目が気になり、人の話を聞ける大人になってもらいたくここに記しました。お祝いのことばらしくなく苦言を呈したようになりましたが、この点だけでなく、さまざま叱られたり注意されたことでみなさんは三年間でまちがいない人間的に大きな成長をしています。

これからは人から注意を受けることは減ると思います。それだけに大府東での経験を思い出し、さらなる成長を期待します。

幸せな人生を

五組副担任 木下 美雪

みなさんはどんなときに幸せを感じますか？
人が幸福を感じるしくみは、科学的にかなり解明されてきています。専門家によると、セロトニンとかオキシトシンという幸福を感じるホルモンが分泌されたとき、人は幸福を感じるそうです。つまり、これらのホルモンが分泌されることをすれば、幸福感を得られるわけです。

幸福ホルモンとして知られるオキシトシンは、人に「ありがとう」と言ってもらったときに多く分泌されていることがわかっています。人のためにするちょっとした親切が、幸せを運んでくれるというわけです。まさしく、「情けは人のためならず」なのです。

是非、幸せな人生を送ってください。卒業おめでとう。



努力し続ける

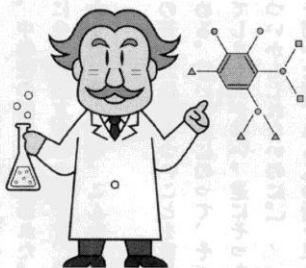
六組副担任 阿知和 歩

トーマス・エジソンの言葉に「一回も失敗したことがない」というものがあります。エジソンは、実験において「これは電球が光らない」という発見を今までに二万回してきたのだ」といいます。

自分が経験した「失敗」だと思っていことは、実は成功への過程に過ぎないのではないのでしょうか。そして、失敗を成功への過程にするためには、挑戦し続けることが必要なのではないでしょうか。

これから始まる新しい環境の中で、何か一つでも成功するために諦めず努力していきましょう。

卒業、おめでとう。



在校生代表

卒業生のみなさんへ

感謝のメッセージ

後期生徒会長 浅野 良成

私は一年半の間、先輩方の部活動での姿を見て、とても憧れていました。部活に入る時に先輩方とうまくできるか心配でしたが、先輩方に優しくしていただいたので、集中して部活動に取り組むことができました。私たちが部活動に入ってから基礎練習をしていると、先輩方が本格的な練習をしていて、その姿が、とてもかっこよく見え、自分も学年が上がったら先輩方のような人になれるかな、と思いつつ、一生懸命、練習に取り組ましました。また、生徒会執行部の大東祭準備や、当日の働きや、先輩方の頑張っている姿を見て、私も大府東高校を支えたいという気持ちから、生徒会執行部に入ろうと思いました。

このように、先輩方から教わったことがたくさんあるので、このことを先輩に伝えていきたいです。

部活動の面でも、生徒会執行部の面でも、多くのものを残していった先輩方、本当にありがとうございました。そして、卒業おめでとうございます。

卒業にあたって

好奇心から挑戦へ

三年一組 栗田 莉沙

私が過ごした高校生活は、とても短いものを感じられました。その一方で、高校生活を振り返ってみると、今まで一番多くのことを経験できたと思っています。その中で印象に残っているのは、留学生の受け入れと、オーストラリアへの短期留学です。最初、外国人と話すことに不安を感じた面もありましたが、それ以上に楽しく、日本と外国との生活の違いを実感することができた貴重な体験になりました。これからも、積極的にたくさんの方に取組みたいです。この先、経験したことが、新たなことに役立てることができたら良いと思っています。

人との出会い

三年二組 中島 紗那

私の高校生活三年間は、とても充実したものでした。その三年間で最も充実したのは、やはり、部活動だ。部長を務めてくださった経験をした。辛いこともあった。だが、いつも支えてくれたのは、顧問の先生、先輩のみんな、そして、同輩だった。支えてくれたら、いろいろな人の助けがあったから、私に部長が務まった。やめることなく、ついてきてくれたみんなが、私の心の支えとなった。この出会いは、私にとって、かけがえのないものである。部活動だけでなく、高校生活三年間で、出会えたすべての人との関わりが、私を成長させたに違いない。

かけがえのない思い出

三年三組 鈴木 陽菜

私は、校舎から見える空が、大好きでした。夏は、鮮やかな青い空、冬は淡い色の空と眩しい夕日。変わらない景色と、変わらない友達の声。私が、幸せだと思ふ瞬間でした。あたりまえだった生活が終わろうとしています。通い慣れた通学路や、見慣れた校舎と笑顔であふれた教室。必死に応援して力を合わせた大東祭。本気をだした球技大会。私はこの三年間で多くの人々と出会い、自分を見直すことができ、勉強をする大切さを知りました。私は、この学校に来て良かったと心から思います。

私を支えてくれた人々に感謝しています。ありがとうございます。

大切なもの

三年四組 長谷田優希美

大切なものは、失ってから気付く。私は、卒業が近づくにつれ、その言葉の重みを感じるようになりました。思い返してみると、この学校で過ごした三年間は、楽しい事ばかりではありませんでした。悩み、傷ついたこともありましたが、そのすべての経験が、この学校だからできたことだと思います。大府東高校の生徒で、この仲間たちと出会えたからこそ、味わうことのできた経験でした。

私は、この場所から巣立つ前に、大切なものに気付くことができました。それは、なにより嬉しいことです。この想いを忘れず、更なる成長をしていきたいと思っています。

高校生をふりかえって

三年五組 三浦 華子

高校の三年間。嘘みたいに早く過ぎました。気付いたら、もう卒業目の前です。学校に行つて、授業をうけて、友達と顔をあわせるのが当たり前の毎日が今になって特別に感じます。大府東高校に来て、良い友達にたくさん出会って、楽しく充実した日々を送ることができました。すてきな友達に囲まれて笑いあつて過ごした時間がとても幸せで、そんな時間をくれた人達に感謝の気持ちでいっぱいです。きつとこれからも高校での思い出は忘れません。友達、先生、両親、近くで支えてくれた人すべてに「ありがとう」と伝えたいです。

メモリーズ

三年六組 山本 廉

三年間、この学校で過ごして、多くの「思い出」に出会った。良い経験も、悪い出来事もすべて含めて、今の私を形作る「思い出」になっている。また、素晴らしい出会いが、私を成長させた。自分を支えてくれた、信頼できる友人、頼りになる先生方など、本当に多くの人々との出会いに恵まれた。皆で一つの夢に向かって努力するプロセスの大切さや、最後までやりきることのできる達成感など、貴重な経験をする事ができた。この経験は、未来の私にとって、かけがえのない財産だ。すべての出会い、経験に感謝し、自分で決めた新たな道を、堂々と胸を張って歩いていきたい。

近藤 史	牧野 有里	上田 千鶴	池田 知世	吉田 一太	渡邊 さやか	平野 雅	栗田 莉沙	神谷 佑里	余合 宏允	福田 雅志	永田 峻将	戸田 博己	谷藤 颯	北崎 隼也	畔上 大輝	三か年皆勤賞	冬青賞	戸田 博己
一月十五日現在	坂部 里奈	神谷 爽佳	土井 貴仁	寺前 勇志	酒井 智健	神谷 真人	磯村 莉渚	西田 亮	杉戸 亮仁	安藤 和樹	若山 夕里愛	樋口 瑠佳	坂野 元哉	澤山 知里	伊良部 菜摘			

おめでとう!!
第三十回生表彰者

平成26年度 部活動試合結果 (11月~2月)

サッカー	<全国高等学校選手権大会愛知県大会> 1回戦 3-1 春日井工業、2回戦 0-1 東海学園 <愛知県高等学校新入体育大会知多支部予選> 2回戦 3-0 半田東、準決勝 2-2 pk 5-4 阿久比 決勝 1-0 知多翔洋 (優勝)	県ベスト32 県大会出場
柔道	<愛知県高等学校新入体育大会知多支部予選> 男子団体 予選リーグ×3人残し〇 知多翔洋、決勝トーナメント 1回戦×2人残し〇 半田農業 男子個人 73kg級 速藤 (第2位)	
バスケットボール(男子)	<愛知県高等学校新入体育大会知多支部予選> 1回戦 93-36 武豊、2回戦 93-71 常滑、 準決勝 73-60 横須賀、決勝 49-50 半田東 (第2位) <同 県大会> 1回戦 72-90 誠信	県大会出場
バスケットボール(女子)	<愛知県高等学校新入体育大会知多支部予選> 1回戦 85-37 半田、2回戦 115-47 半田東、 準決勝 74-64 常滑、決勝 43-71 大府 (第2位) <同 県大会> 1回戦 79-57 緑、2回戦 22-215 桜花学園	県大会出場
ハンドボール(女子)	<愛知県高等学校新入体育大会知多支部予選> 1回戦 12-16 半田	
バレーボール(女子)	<知多支部選手権大会> 予選リーグ 2-1 日本福祉大附属、2-1 横須賀 決勝トーナメント 0-2 半田商業 <愛知県高等学校新入体育大会知多支部予選> 1回戦 2-0 桃陵、0-2 半田商業	
弓道	<愛知県高等学校新入体育大会知多支部予選> 男子個人 伊藤 8射6中	県大会出場
バドミントン(男子)	<全知多高等学校選手権大会> 団体 (優勝) <名南・知多地区高等学校選手権大会> 団体 (第3位)	
バドミントン(女子)	<愛知県高等学校学年別大会> ダブルス 浅井・西脇組 6回戦進出	県ベスト16
卓球	<愛知県高等学校新入体育大会知多支部予選> 男子団体 1回戦 3-1 知多翔洋、2回戦 1-3 半田東 女子団体 1回戦 2-3 東海南 <知多地区高等学校卓球大会> 男子シングルス 浅野 ベスト32 男子ダブルス 浅野・山田組 ベスト16 女子シングルス 末松 ベスト16	

